



株式会社UKCホールディングス 2017年(平成29年)3月期第2四半期決算 補足説明資料

2016年10月31日



株式会社 UKCホールディングス



目次



2017年3月期 第2四半期決算(連結)概況

事業セグメント	4
2017年3月期 第2四半期 ハイライト	5
2017年3月期 第2四半期 半導体及び電子部品事業	6
2017年3月期 第2四半期 電子機器事業	7
2017年3月期 第2四半期 システム機器事業	8
2017年3月期 第2四半期 財政状態(バランスシート)	9
2017年3月期 第2四半期 財政状態(キャッシュ・フロー)	10

2017年3月期 通期連結業績予想

2015年3月期 通期連結業績予想	12
-------------------	----



2017年3月期 第2四半期決算(連結)概況

事業セグメント



事業部門(セグメント)		主要製品	主要顧客／市場
半導体及び 電子部品事業	半導体	イメージセンサー、メモリー、マイコン、システムLSI、パワー、 その他半導体	エレクトロニクスメーカー
	電子部品	液晶パネル、タッチパネル、バッテリー、光学ピックアップ、 ACF、基板、複合部品、その他一般電子部品	
	EMS	電子機器受託製造サービス (Electronic Manufacturing Service)	
	その他	LED照明、太陽光パネル DDS (Dust Detection System) 事業※	店舗、工場、オフィス、 メガソーラー
電子機器事業	電子機器	各種VTR、カメラ、音響映像関連機器、ビデオプリンター	放送局、プロダクション、 一般企業、教育機関、 医療機関、半導体製造 装置メーカー、システム インテグレータ
	記録媒体品	磁気テープ、光ディスク、データ記録用ディスク	
	製品	電子機器を組み合わせたシステム製品、 セキュリティ関連製品	
	その他	電子機器の修理、AV機器のレンタル、教育用ソフトウェア	
システム機器 事業	産業電子機器及び 伝送端末機器	非接触ICカード(FeliCa, NFC)R/Wモジュール、電子決済端末、 出入管理端末	電子決済市場、 デジタルサイネージ市場、 PC・タブレットメーカー
	その他	信頼性試験受託業務、環境物質分析受託業務	半導体・部品メーカー、 太陽電池メーカー

※太陽光発電における太陽光パネル表面上の汚れや温度上昇等に起因する発電効率の劣化を測定するセンサーを内蔵する機器の
開発・設計・製造・販売事業と発電効率に関するデータ提供を行うサービス事業からなる

2017年3月期 第2四半期 ハイライト

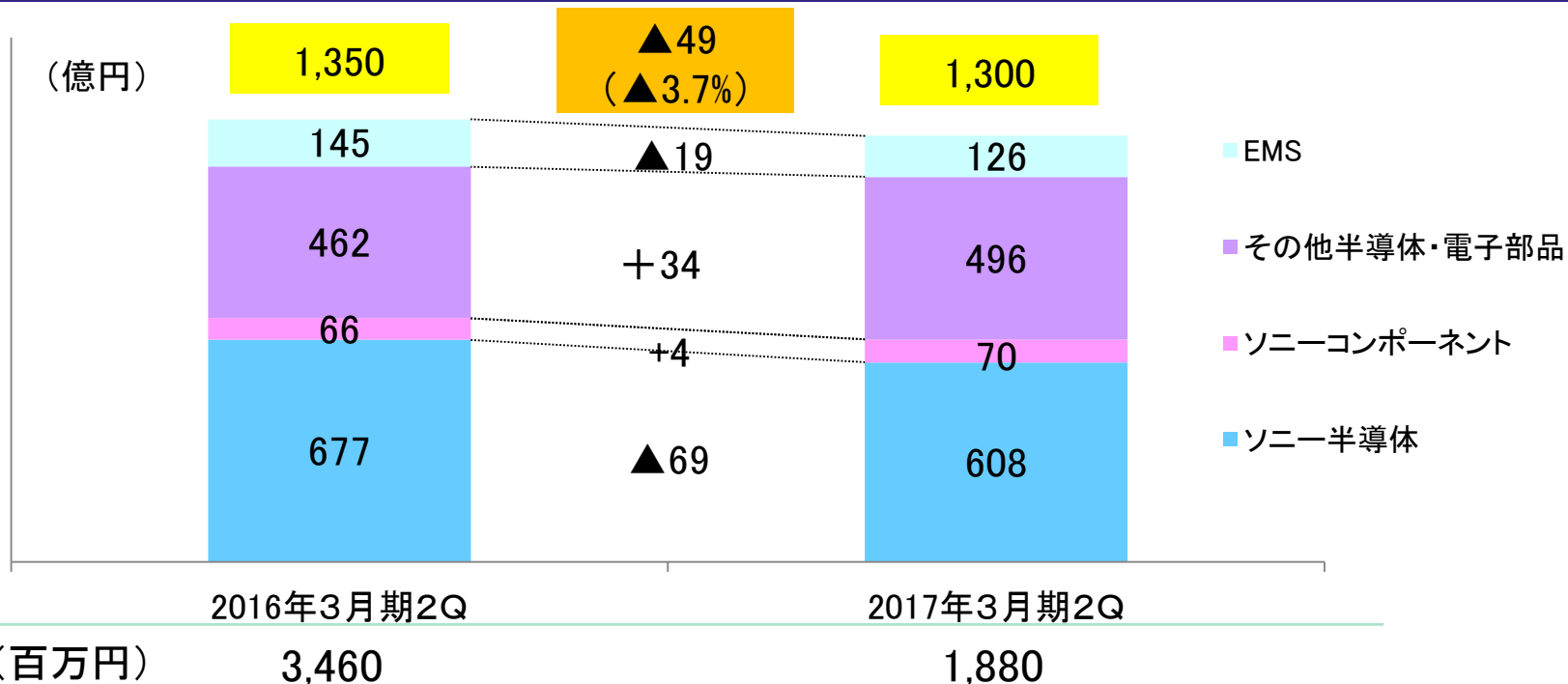


(単位:百万円)	2016年3月期2Q累計 (実績)		2017年3月期2Q累計 (5月10日予想) [※]		2017年3月期2Q累計 (実績)		前年同期比		期初計画比	
	金額	構成	金額	構成	金額	構成	増減金額	増減率	増減金額	増減率
売上高	142,949	100.0%	144,000	100.0%	137,947	100.0%	▲5,002	▲3.5%	▲6,052	▲4.2%
売上総利益	9,111	6.4%	8,900	6.2%	7,195	5.2%	▲1,916	▲21.0%	▲1,704	▲19.2%
SGA	5,753	4.0%	5,900	4.1%	5,340	3.9%	▲413	▲7.2%	▲559	▲9.5%
営業利益	3,357	2.3%	3,000	2.1%	1,854	1.3%	▲1,503	▲44.8%	▲1,145	▲38.2%
経常利益	3,176	2.2%	2,900	2.0%	1,276	0.9%	▲1,900	▲59.8%	▲1,623	▲56.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,297	1.6%	2,000	1.4%	1,015	0.7%	▲1,282	▲55.8%	▲984	▲49.2%
EPS(円)	146.39		127.41		64.69					

- ▶ 売上高:前年同期比▲50.0億円(▲3.5%) 円高に加え、熊本地震の影響(50億円弱に止まる)もあり前年同期比減
- ▶ 売上総利益:前年同期比▲19.2億円(売上総利益率▲1.0%)
急激な円高の進展に伴うドル建て取引における仕入時と販売時の為替レートの差異による原価率悪化等により大きく減少
- ▶ 営業利益:前年同期比▲15.0億円(▲44.8%)
SGAは4.1億円減となったものの、売上総利益の減少に伴い前年同期比大幅減
- ▶ 経常利益:前年同期比▲19.0億円(▲59.8%)
急激な円高傾向に伴う為替差損の拡大(前年同期 111百万円差損⇒425百万円差損)もあり前年同期比大幅減
- ▶ 親会社株主に帰属する当期純利益:前年同期比▲12.8億円(▲55.8%)

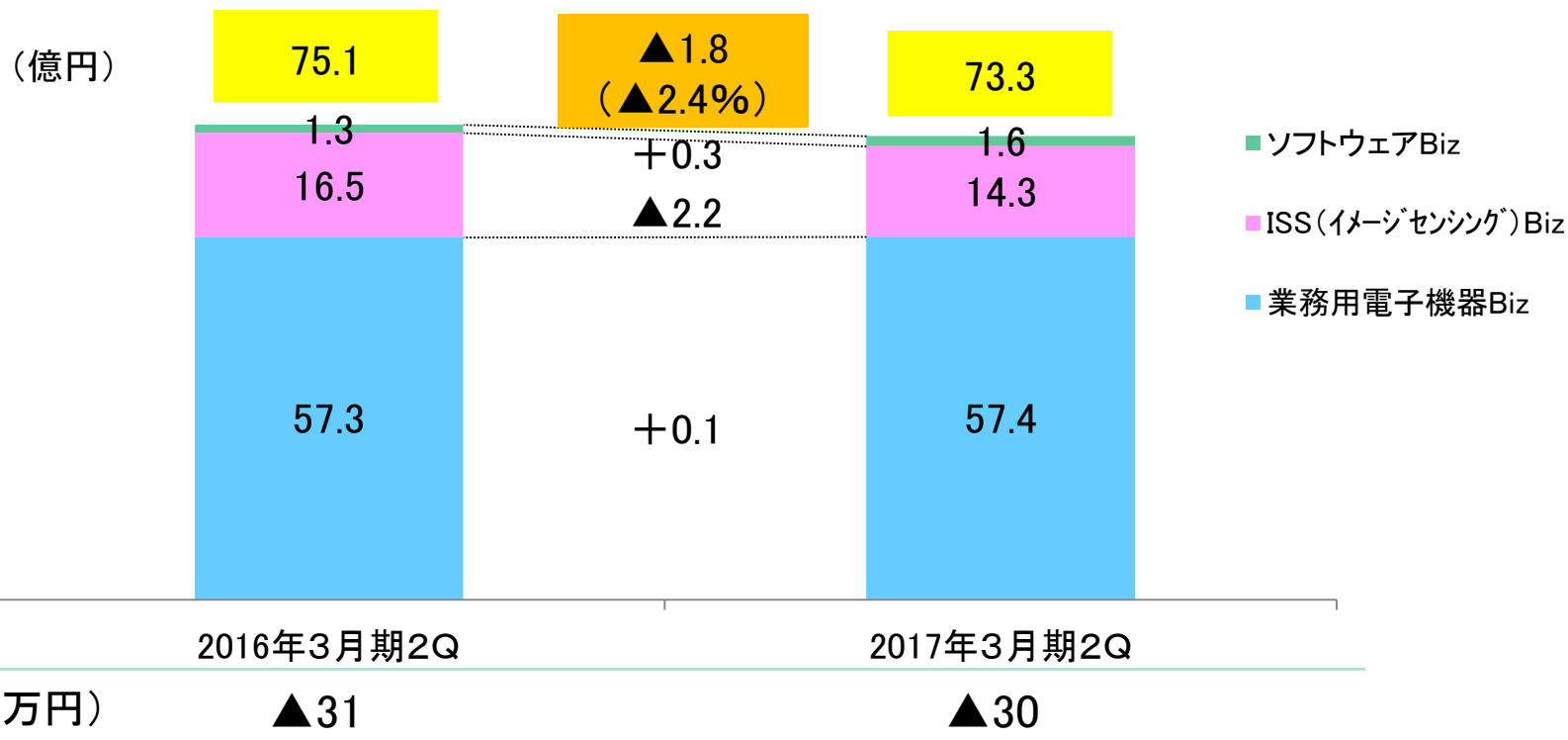
※10月28日に業績予想の修正実施

2017年3月期 第2四半期 半導体及び電子部品事業



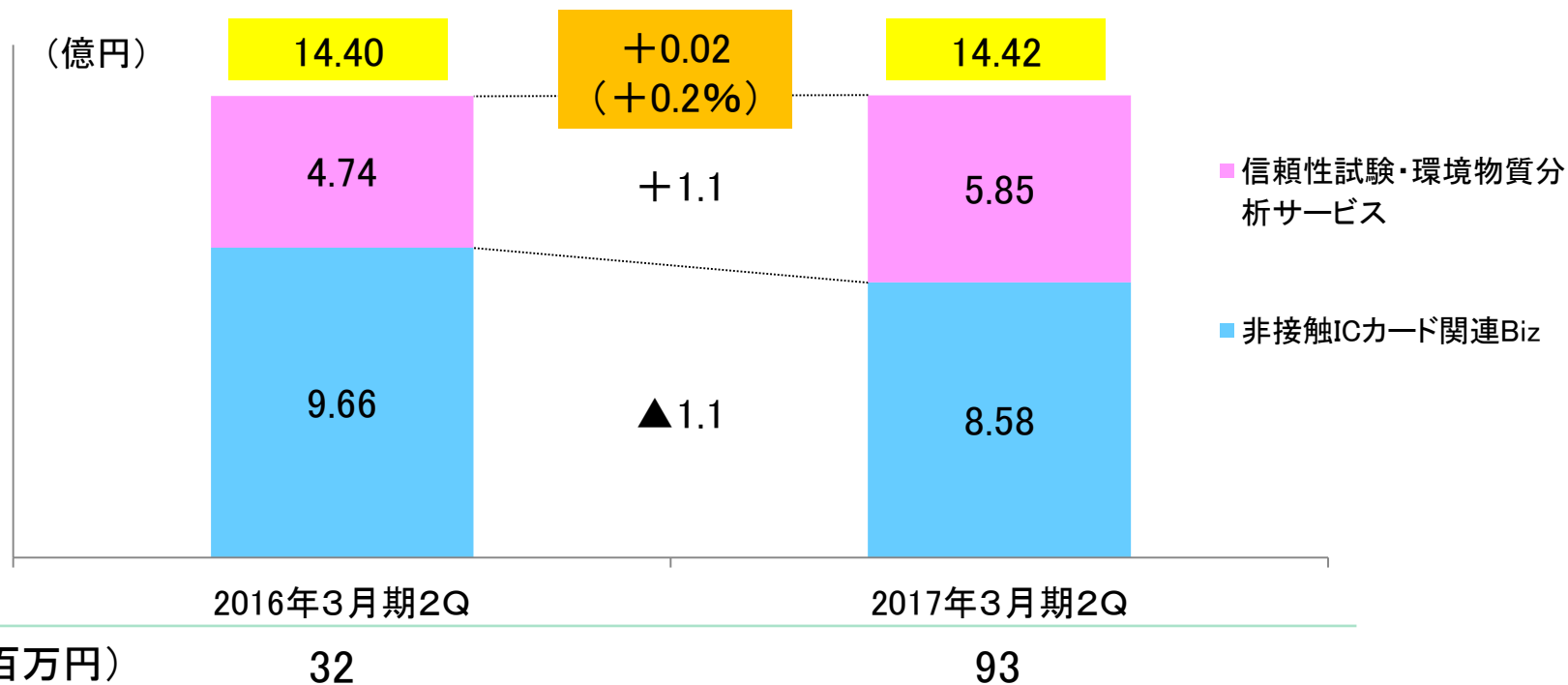
- ソニー半導体: 円高の影響に加えて、熊本地震の影響による一部製品の販売機会損失もあり、減収
- その他半導体・電子部品: 産機向け製品、スマホ向け指紋センサー等の売上が伸長
- EMS: 中国自社工場(携帯端末向け部品基板実装)は引き続き堅調に推移も、前年同期は撤退したファブレスEMSの売上が6億円あったことに加え、円高や部品の無償支給割合増加の影響もあり、前年同期比減収
事業の収益性は前年同期より向上
4月操業開始のベトナム工場の立ち上がりはスローなもの、2017年3月にはブレークイーブンを見込む
- セグメント利益は、急激な円高の進展に伴うドル建て取引における仕入時と販売時の為替レートの差異により、原価率が悪化したことや市場競争の激化等の影響により、大きく減少

2017年3月期 第2四半期 電子機器事業



- 業務用電子機器ビジネス
オリンピック関連や医療関連のビジネスが好調
- イメージセンシングビジネス
熊本地震の影響による監視カメラ製品の調達難もあり減収
- セグメント損失は、利益率の向上により、わずかに改善

2017年3月期 第2四半期 システム機器事業



➤ 非接触ICカード関連ビジネス

電子マネー関連ビジネスの商談は引き続き活況に推移しているものの、一部ビジネスの下期シフトもあり、減収

➤ 半導体及び電子部品の信託性試験・環境物質分析サービス

車載やパワー系の受注が増加

➤ 利益率の改善により、セグメント利益は増加

2017年3月期 第2四半期 財政状態(バランスシート)



(単位:百万円)	16/3月末	16/9月末
現預金	22,705	24,790
売上債権*	72,225	70,190
棚卸資産	18,942	17,199
その他	5,454	9,432
流動資産計	119,328	121,613
固定資産計	7,079	6,904
総資産	126,408	128,517
仕入債務	34,945	38,887
短期借入金	22,522	25,466
1年内返済長期借入金	2,825	1,362
その他	3,876	3,125
流動負債計	64,169	68,841
長期借入金	3,635	2,376
その他	874	863
固定負債計	4,509	3,240
純資産	57,728	56,436
自己資本比率	45.3%	43.6%
BPS(円)	3,651.57	3,570.89

※電子記録債権含む

	前期末比	主な増減要因
総資産	+2,109	<ul style="list-style-type: none"> ・その他流動資産 +3,978百万円 ・現預金 +2,084百万円 ・たな卸資産 ▲1,743百万円 ・売上債権 ▲2,035百万円
負債	+3,402	<ul style="list-style-type: none"> ・仕入債務 +3,941百万円 ・短期借入金 +2,943百万円 ・未払法人税等 ▲521百万円 ・長期借入金 ▲1,258百万円 ・1年内返済予定長期借入金 ▲1,462百万円
純資産	▲1,292	<ul style="list-style-type: none"> ・親会社株主に帰属する四半期純利益 1,015百万円 ・利益剰余金からの配当 ▲392百万円 ・その他の包括利益累計額変動 ▲1,872百万円
自己資本比率	▲1.7%	主に為替換算調整勘定の減少に伴う純資産の減少により減少



2017年3月期 第2四半期 財政状態(キャッシュ・フロー)



(百万円)	16年3月期 第2四半期	17年3月期 第2四半期	主な増減要因	
営業 CF	▲7,163	894	<ul style="list-style-type: none"> ・仕入債務の増加 ・税金等調整前四半期純利益 ・たな卸資産の減少 ・法人税等の支払額 ・売上債権の増加 	<ul style="list-style-type: none"> 7,599百万円 1,506百万円 665百万円 ▲885百万円 ▲2,828百万円
投資 CF	335	▲672	<ul style="list-style-type: none"> ・投資有価証券の売却 ・有形固定資産の取得 	<ul style="list-style-type: none"> 314百万円 ▲883百万円
財務 CF	3,189	2,657	<ul style="list-style-type: none"> ・短期借入金の純増 ・配当金の支払額 ・長期借入金の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 5,469百万円 ▲392百万円 ▲2,402百万円
現金及び 現金同等物	22,468	23,990		



2017年3月期 通期連結業績予想

2017年3月期 通期連結業績予想

(単位:百万円)	2016年3月期 (実績)		2017年3月期 (5月10日予想)		2017年3月期 (10月28日修正予想)		増減率	
	金額	構成	金額	構成	金額	構成	前年比	前回予想比
売上高	288,684	100.0%	300,000	100.0%	282,000	100.0%	▲2.3%	▲6.0%
売上総利益	18,250	6.3%	18,800	6.3%	16,000	5.7%	▲12.3%	▲14.9%
SGA	11,763	4.1%	11,800	3.9%	11,000	3.9%	▲6.5%	▲6.8%
営業利益	6,487	2.2%	7,000	2.3%	5,000	1.8%	▲22.9%	▲28.6%
経常利益	5,448	1.9%	6,800	2.3%	4,300	1.5%	▲21.1%	▲36.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,200	1.1%	4,500	1.5%	3,000	1.1%	▲6.3%	▲33.3%
EPS(円)	203.88		286.68		191.12			

- 第2四半期累計連結業績は、急激な円高の影響により、特に利益面で前年同期を大きく下回った
- 下期のドル為替レートを期初の115円から105円に見直し、10月28日に通期連結業績予想を修正
- 売上高、利益ともに期初予想を下回る見込だが、第3四半期以降は、円高ながら為替レートは安定傾向にあるとともに、足もとの顧客の需要動向も堅調であることから、収益性の改善を見込む
- 下期は熊本地震の影響は剥離
- ソニー半導体・電子部品や車載向け中小型液晶に加え、産業機器やIoT向けの製品群を引き続き発掘・拡販
- 配当予想は、現段階で第2四半期末、期末ともに修正の予定なし(第2四半期末30円、期末30円)



株式会社 UKCホールディングス

〈お問い合わせ先〉

経営企画部 大澤

Mail to: ir@ukcgroup.com

本資料中のデータや将来予測は、資料作成時点における当社の判断や入手可能なデータに基づくもので、今後様々な要因によって変化することがあり、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。